



理事長 小林 寿夫



明けましておめでとうございます。

本年も、健やかに新年を迎えられたことを皆さんとともに喜びたいと思います。思えば、ちょうど一年前の元旦の午後4時10分に富山市内においても最大震度5強というこれまでにない大きな地震に襲われました。さらに地震被害から動き出していた能登地方を8ヶ月後の豪雨被害が襲いました。改めまして災害の犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様方にお見舞い申し上げます。

また、コロナ感染から脱却したかに見えた社会では感染の広がりが止まらず、インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎とのトリプルデミックとも言われています。庶民生活や中小企業経営を直撃している物価高、1898年以降最高の夏の平均気温を記録した温暖化、収まる気配のない少子高齢化、アメリカや韓国を始め世界各国で進む社会の分断化など我々を取り巻く問題を挙げればきりがありません。なごみ苑を取り巻く環境を見ましても食材料費の高騰、人件費の増加、人手不足などが重なり、法人の経営状況は厳しさを増しています。

今年の干支は巳年です。蛇は古来から五穀豊穡や金運をつかさどる神様として祭られることもあり、脱皮するたびに傷が治癒することから治療や再生のシンボルとされています。当法人の新たな一歩として始めたサービス付き高齢者住宅の早月の郷が5年、ルピナス滑川が1年を経過いたしました。お陰様で地域の皆様にご温かく受け入れられる施設として順調に運営されております。蛇に倣って粘り強く、前進して行きたいと決意を新たにしています。

新しい年も皆さんにとっても充実した幸多き年でありますように、祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

施設長 佐々木 正



明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願いします。昨年は元旦、午後4時10分、能登半島地震の揺れと壊滅的な映像にお正月は吹っ飛びました。さらに9月、今度は豪雨で濁流に流され、氾濫に飲み込まれた能登半島。能登の復興、復旧は地形的、地質の問題もあるのですが大幅に遅れています。被災したままの光景と同居しながら住民は今日を見つめ、明日を考え、住みなれた故郷と言葉を交わしているはずです。ふわりふわふわ、波の花が寒さの中で潮風に舞い、春を呼んでいます・・・

令和2年1月、コロナが日本に上陸、『忍』の日々が始まりました。5年が過ぎた昨年、来日外国人観光客数は過去最高、私たちもコロナの呪縛が緩み、楽に？なりました。しかし戦争、災害、飢餓、貧困・・・新たな問題も次から次と。混迷を深めながら地球は同じ軌道を同じリズムで回っています。私たちは周囲との関わりや拘束から解放され、「私の世界」を求めます。絆をつまみながら「切断」のスイッチをOn・off！「絆」が切れて「分断」が進みます。それは本能的なことですが軌道修正は十分に可能です。絆の回復＝地球の軌道修正！地球に笑顔を！そのスタートを私たち一人一人の日常から！

今年は約800万人の団塊の世代が75歳以上になり、国民の5人に1人が後期高齢者になります。平均寿命；男性81.09歳、女性87.14歳（令和5年）。人口減少、働き手不足、経済の停滞、社会不安・・・大きな問題がいろいろ表面化してきています。

「なごみ苑」は平成元年4月8日創設、36年になりますが初めて経験する大波です。

今ここにを大切に！心豊かに楽しい時を！あたたかさの中で
今を生きる！職員が相互に、一人一人に感謝を！

創設理念を噛み締め、互いに感謝の花を上げましょう。その花で「花輪」を作ります。「なごみ苑の花輪」は嵐や荒波を乗り越えて行きます！